

令和2年9月7日朝礼（各学級にて）

昨日から今日にかけて、台風が日本列島に接近しました。皆さんの中にも、親戚の方や知り合いの方が、台風の通り道にあたる場所にいて、心配をしている人も多いと思います。大きな被害が出ないことを心からお祈りしたいと思います。また、私たちが住んでいるこの地域にも、いつ災害が起こるかわかりません。自分の大切な命を守ることができるように、日ごろから備えておきたいと思います。

さて、先日は児童会の子たちがあいさつ運動をしてくれました。私からも「あきたけ」の「あ」、あいさつをしっかりとできるといいなということをよくお話しさせていただいています。あいさつの言葉を聞くだけで気持ちのよさを感じるのは、まさにあいさつの言葉の力だと思います。こういった、気持ちのよさを感じる言葉って、みなさんにはありますか。ちょっと考えてみてください。私も、いろいろな人に聞いてみました。

「がんばって」「だいじょうぶ」など、相手を励ます言葉があります。

「ありがとう」「あなたのおかげ」など、相手に感謝する言葉があります。

「やさしいね」「たのもしいいね」「すばらしい」「きれいにそうじしたね」など、相手のよさを認める言葉があります。

「へえ、そうなんだ」「わかるよ」「わたしもそう思うな」「いいところに気がついたね」「もっと話を聞かせて」「一緒にやってみたいな」など、相手の気持ちを理解する言葉があります。

「どうしたの」「ちょっと元気がないね」など、相手を心配する言葉もあります。

一人で何か仕事をしているときに、「大丈夫？」「手伝うよ」の言葉もうれしいですね。私も先週、運動場の草取りをしていたら、「手伝うよ」と言ってくれた子がいて、とてもうれしかったです。まだまだほかにもあるかもしれませんね。

また、「ありがとう」と言うときに、ちょっと頭を下げると、「ありがとう」の気持ちが相手にもよく伝わりますね。皆さんが登下校で、道を渡る時に、待っていただいた車の運転手さんに、「ありがとう」の気持ちをこめて頭を下げている子を、私もよく見かけて、とても気持ちがいいなと思います。

言葉には大きな力があると思います。皆さんの、相手の気持ちを考えたその一言が、相手に大きな力を与えることがあると思います。

そんな言葉を、いろいろな人に積極的にかけてあげられるといいですね。